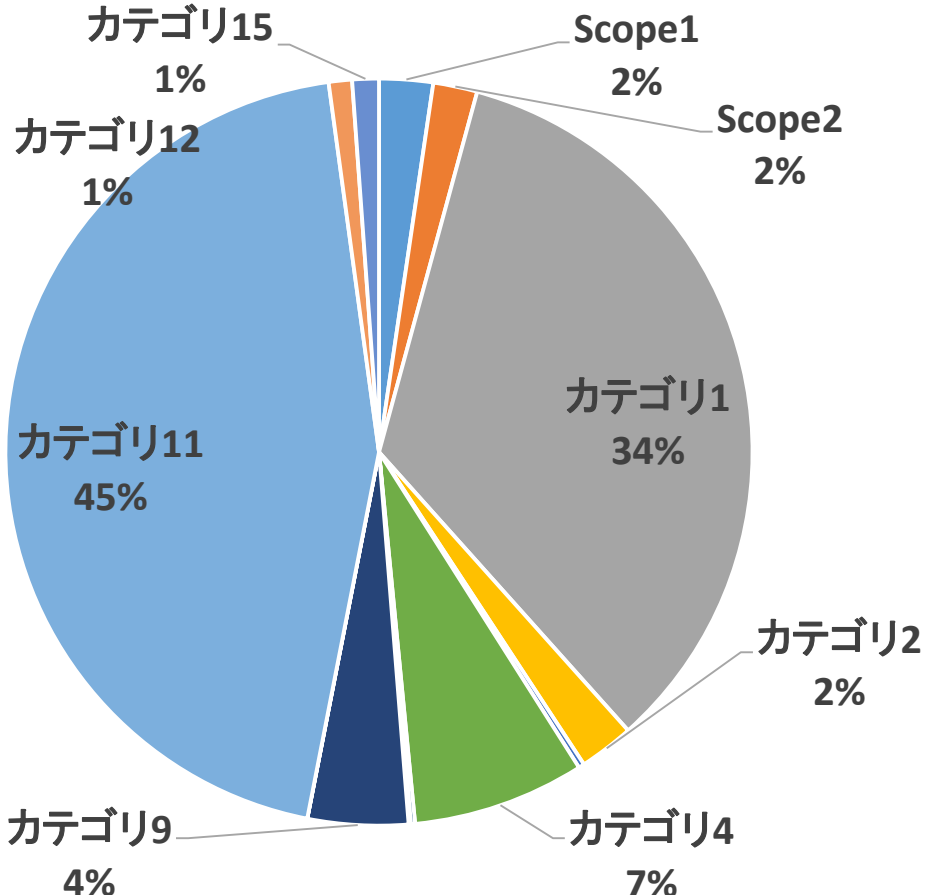


# 住友林業株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：建設業</li> <li>● 事業概要：当社グループは、当社、連結子会社103社及び持分法適用関連会社29社で構成され、山林事業を礎として、木材・建材の仕入・製造・加工・販売、戸建住宅等の建築工事の請負・リフォーム、分譲住宅の販売、不動産の管理・仲介、及びそれらに関連する事業活動を、国内外で行っている。</li> <li>● 事業規模：（平成29年3月期）        売上：1,113,364(百万円)        従業員数：17,802人</li> </ul>
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>&lt;Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;            Scope1+2の排出量：2030年に2016年比で24%削減</p> <p>&lt;Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;            Scope3カテゴリ1+11：2030年に2016年比で15%削減</p>

## 住友林業株式会社

項目	内容																																					
3.2016年のGHGインベントリ[数値は任意]	<p>● Scope 1・2・3の排出量の状況 (※割合は必須、グラフを挿入)</p>  <table border="1" data-bbox="459 442 1391 1328"> <caption>GHG Emissions by Category and Scope</caption> <thead> <tr> <th>Category / Scope</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Scope 1</td><td>2.3%</td></tr> <tr><td>Scope 2</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>Category 1</td><td>34.1%</td></tr> <tr><td>Category 2</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>Category 3</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>Category 4</td><td>7.5%</td></tr> <tr><td>Category 5</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>Category 6</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>Category 7</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>Category 8</td><td>対象外</td></tr> <tr><td>Category 9</td><td>4.3%</td></tr> <tr><td>Category 10</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>Category 11</td><td>44.8%</td></tr> <tr><td>Category 12</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>Category 13</td><td>対象外</td></tr> <tr><td>Category 14</td><td>対象外</td></tr> <tr><td>Category 15</td><td>1.2%</td></tr> </tbody> </table>	Category / Scope	Percentage	Scope 1	2.3%	Scope 2	1.9%	Category 1	34.1%	Category 2	2.4%	Category 3	0.2%	Category 4	7.5%	Category 5	0.2%	Category 6	0.0%	Category 7	0.1%	Category 8	対象外	Category 9	4.3%	Category 10	0.0%	Category 11	44.8%	Category 12	1.0%	Category 13	対象外	Category 14	対象外	Category 15	1.2%	● SCOPE1 : [tCO2]
Category / Scope		Percentage																																				
Scope 1		2.3%																																				
Scope 2	1.9%																																					
Category 1	34.1%																																					
Category 2	2.4%																																					
Category 3	0.2%																																					
Category 4	7.5%																																					
Category 5	0.2%																																					
Category 6	0.0%																																					
Category 7	0.1%																																					
Category 8	対象外																																					
Category 9	4.3%																																					
Category 10	0.0%																																					
Category 11	44.8%																																					
Category 12	1.0%																																					
Category 13	対象外																																					
Category 14	対象外																																					
Category 15	1.2%																																					
	● SCOPE2 : [tCO2]																																					
	<p>● SCOPE3 : [tCO2] 目標の対象セクター : カテゴリ1、カテゴリ11</p>																																					

# 住友林業株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスクとして、排出量取引制度が実施され目標未達の場合のコスト増、生態系の変化やパリ協定に伴う規制強化による木材調達リスク（調達ルート確保やコスト増）、木材調達に関する評判リスクなどが考えられる。</li> <li>● 機会として、再生可能エネルギー固定価格買取制度利用や住宅の省エネルギー基準義務化の早期対応、森林の生長促進などが考えられる。再生可能エネルギー固定価格買取制度の利用ではバイオマス発電や太陽光発電などの再生可能エネルギー発電設備の導入が進むことで、より多くの売電収益を得ることができる。2016年度までに2件の木質バイオマス発電事業を展開し、2017年度には新たに2件展開する。</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住友林業グループは、経営理念における行動指針の一つに「環境共生」を掲げ、「持続可能な社会を目指し、環境問題に全力で取り組む」ことを定めている。2014年度には環境目標を含む「CSR中期計画」（2015～2020年度）を策定し、これを年度単位の数値目標として「CSR予算」に織り込み、各組織でPDCAサイクルを回すことで環境活動を着実にレベルアップさせている。加えてパリ協定が採択されて国際的な目標と一致するSBTの設定検討を始め、長期的な環境目標の設定を行うことにより、持続可能な社会へより一層の貢献を行う。</li> </ul>

# 住友林業株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSR推進室でSBT設定の検討を始め、経営者のコンセンサスを得た上で2017年6月にSBT事務局へコミットメントレターを提出した。環境省SBT策定支援事業で提供されたSDAツールを用いてScope 1・2の削減目標の設定を行った。Scope 3についてはバウンダリーを国内の関係会社を含めたグループ会社から海外へと広げ、カテゴリ1と11で全体の3分の2以上を占めることが分かった。当社で定めているZEH（ゼロエネルギーハウス）普及目標等から製品使用時の排出削減量を試算し、目標設定を行った。</li> </ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 削減目標の実現可能性の検討とScope 3のデータ精度向上</li> <li>● Scope 1：バイオマス発電事業のGHG排出削減方法の検討</li> <li>● Scope 2：国内外の再エネ取得の情報収集。海外工場の電力使用量の削減方法の検討</li> <li>● Scope 3：データ精度向上のため、カテゴリ1の国内外の排出原単位の情報収集、海外での製品使用時のデータの情報収集</li> </ul>